

ゆ

すべてに ^{やさ}優^{しく}
いつまでも ^{ゆとり}悠^{ある}
やすらぎの ^{ばしょ}邑^{でありたい}



2024
春号

号

「今日も楽しかった」と
言っていただけのように…

令和6年度指針

社会福祉法人 杉和会 理事長 若山 宏

コロナ感染症が昨年5月8日に2類から5類になったとは言え、感染症対策を怠る事無くおこなう事により『平安之福』の生活をしっかりと堅持すると共に、今年元旦に起きた能登沖の地震を教訓にして防災についても再構築をしてこれまた『平安之福』の生活にしていく。また、法人理念を昨年度までの「すべてに優(やさ)しく いつまでも悠(ゆとり)ある やすらぎの邑(ぼしよ)を実現します」から、法人発足時の「すべてに優(やさ)しく いつまでも悠(ゆとり)ある やすらぎの邑(ぼしよ)でありたい」に戻す事により初心の思いを大切にしつつ入居者さん、利用者さん、職員に笑顔溢れる施設の構築に努める事により、地域の方々からより信頼を持って頂ける様に職員一丸で邁進していく。職員がゆとりを持った対応が出来る為に、国の補助金が確保出来たのでロボット・ICTの導入により業務の省力化を計り余裕の出来た時間を今迄以上に入居者さん、利用者さんとの時間の充実に取り組んでいく。また、3拠点施設の良さをお互いに共有できる仕組み作りに取り組む事により職員同士の切磋琢磨が出来る様にしていきたい。

地域と共に歩む中で今まで以上に地域の思いを法人の特性を生かして活動しく事により、地域の中でより信頼を得ることに邁進していきます。

優・悠・邑 委員会指針

入浴委員会

委員長 谷田 貴都

入居者様、利用者様一人ひとりに安心、安全に入浴して頂けるよう必要な物品を検討し揃えていきます。楽しんで入浴して頂ける様に季節湯や壁面などの環境を整えていきます。外国人職員も増えてきており、統一したケアが行えるようにマニュアルも合わせて検討していきます。

食事委員会

委員長 桐山 寿美子

『食事の時間を楽しく、安心、安全に！』毎日の食事の時間をより楽しいものにしていきたい。また、どなたにも、安心して、おいしく食べていただきたい。そして、なにより、安全に食べていただけるよう心配りしていきたいと思えます。

排泄委員会

委員長 吉田 佳子

毎日笑顔で快適に過ごして頂けるよう、入居者様一人一人に合った排泄ケアを検討し、提供していきます。気持ちよく安心して使用していただける環境作り、優しく丁寧な声かけや介助を心がけます。排泄ケア用品の正しい使い方を学び、実践していきます。



感染症対策委員会

委員長 水野 貴子

コロナも5類になり約一年が経過して、対応が緩和され緩やかになりました。しかし、施設でも感染者はあり、その都度対応しています。今年も施設では基本的な感染対策「持ち込まない！持ち出さない！拡げない！」の基本的なことが徹底できるように研修・情報収集を行い対応しながら入居者・利用者の方々の生活を守るように努めていきたいと思えます。

褥瘡対策委員会

委員長 小林 彩乃

褥瘡の早期発見、褥瘡のできない施設を目指します。褥瘡ができてしまうと痛いことはもちろんですが、QOLも下がってしまいます。一人一人の身体の状態を把握し、介護職だけでなく他職種との連携も図り、適切なポジショニングなどを行い、一丸となって褥瘡の予防に努めます。

トランスファー研修委員会

委員長 早瀬 友貴

トランスファーとは移動・移乗のことを指します。間違った介助方法を行うと利用者様、介助者の怪我にもつながります。最近では外国人の職員も増えてきました。外国人でも安全、安心な介護ができるよう分かりやすく教え、職員全員が正しい移動・移乗ができるよう取り組んでいきます。

優・悠・邑和合 委員会指針

リスク対策委員会

委員長 岩田 康嗣

今年度のリスク対策委員会では、「施設で発生する事故をいかにして防ぐか」を活動指針にしております。それでも発生してしまう事故もあるかと思えます。その際には何が原因だったのかを環境や人材配置などの多くの要因を多角的に分析します。事故を通して「安心安全な施設での生活づくり」の方法を入居者様に学ばせて頂いたと受け止め、再発防止に努めていきます。

生活向上委員会

委員長 芝崎 真行

普段の生活の中で、疑問を持つことによつて気づきが生まれる。その為には意見や案を出し合いながら、根拠を持ちながら、どのような方法が入居者様・利用者様にとつてより良いのか。「楽しかったよ」言ってもらえるような工夫を、生活の中にとりいれていきたい。

褥瘡対策委員会

委員長 堀 貴美

職員研修の実施にて知識を深め、褥瘡予防、早期発見の為、利用者個々の栄養状態、マットレスの選択、ポジショニング、皮膚の状態の評価を行い、日常的ケアにおいて、よりよい適切な介護、看護のケアが行えるよう目指していきます。

感染症対策委員会

委員長 鹿野 里枝子

今まで出来ていた感染対策が、出来なくなりつつある状況である。感染対策の基本から職員に指導を行い、再度感染対策が行える施設を目指します。また、昨年度はコロナウイルスのクラスターが発生したため、今年度は感染対策を周知し、クラスターが起きないように取り組みます。

行事・余暇委員会

委員長 藤本 二三子

新型コロナウイルスも5類となり、日常を取り戻しつつあるなかで、コロナ禍以前に行っていた行事、イベントの再開と共に、地域を取り込むなど新たな挑戦をし、そんな中でも「楽しかったよ」「嬉しかったよ」など入居者様に感じて頂けるような行事余暇の提供を計画・実施していきます。

地域貢献委員会

委員長 加藤 容子

昨年度に引き続き、職員による月に一度の施設周辺の清掃活動を継続して行い、地域の環境美化に努めます。また、月に一度開店している健康カフェ「そわか」や自治会行事の夏祭り、センター祭り等に積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を図ります。



優・悠・邑和 委員会指針

事故発生防止対策委員会

委員長 高木 あゆみ

入居者様が安全・安心して生活が送れるよう、事故の発生未然防止を意識し毎月の委員会では、適切な評価を行いより質の高い支援を提供できるように取り組んでいきます。また、事故へとつながらないよう日々の生活の中の「気づき」を多くの職員に促し、事故が一件でも少なくなることを目指します。

災害対策委員会

委員長 武藤 朝記

地震・火災等、様々な災害が想定されますが、入所者様及び職員の安全確保を図るため、災害発生時に速やかに対応でき、入所者様が安全に避難できるように体制を整備していきます。防災訓練や人命救助訓練等を行い、非常災害に対する適応力を高めていきます。

生活向上・接遇委員会

委員長 堀江 忠史

食事・入浴・排泄に関してその人らしい生活が出来るよう支援してまいります。生活の質の向上を目指し、洗濯や掃除など自立支援を目標に出来る事はご自身で行っていただくよう支援します。また、スピーチロックなど抑制する言葉掛けを無くし、利用者様を敬う言葉掛けを大切にして尊厳を守るよう取り組んでいきます。

地域貢献委員会

委員長 武藤 朝記

地域（地元の方々や学校等）の方々には視覚障害者や養護の方々に対する理解を深めていただくために交流の場を作っていきます。また、地域の行事やごみ拾い活動等に参加するなど、様々な連携が出来るように活動を行っていきます。

身体拘束等対策委員

委員長 尾花 あかね

入所者様の尊厳と主体性を尊重し、身体拘束ゼロを目指します。入所者様一人一人に合わせた個別ケア、身体拘束をしないケアを職員で統一し、普段からコミュニケーションを取りながら気づきを増やし、職員研修を企画、実施し安心して過ごして頂ける生活環境を整えていきます。

虐待防止対策委員会

委員長 尾花 あかね

入所者様の尊厳の保持、人格の尊重を重視し、虐待の未然防止、早期発見、また虐待発生時には迅速かつ適切な対応を行い確実な再発防止に取り組めます。その為、定期的な委員会の開催、研修を行い、適切な知識の普及、啓発を行い、入所者様が安心して生活を送って頂けるよう努めます。

感染症対策委員会

委員長 岡崎 友美

コロナ感染症の部類が2類から5類に移行し、制限の緩和がみられますが施設では感染症対策の研修とマニュアルの周知を徹底し、基本的な感染予防を継続的に行う事が重要だと考えています。利用者様やご家族、職員を感染から守るために安心・安全な環境作りに努めて参ります。

企画運営委員会

委員長 堀江 忠史

昨年度はコロナ禍の影響もあり思うような外出が出来ませんでした。今年度は外出支援を充実させ、買い物や地域のイベントなどに参加できるような取り組みを行ってまいります。入居者様の笑顔を見るため職員全員が参加して「今日一日楽しかった」と言ってもらえるような取り組みを目指していきます。

